



問い合わせ先

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつぶやき

浸水被害のため休館していましたが、やっと開館しました！
 来館をお待ちしています。

コスモス

新着・お薦め図書

中央公民館図書室

韓非子に学ぶ
 写真、撮られ術。
 「働くパパ」の時間術
 クローバー・レイン
 夜の国のクーパー
 ちきゅうのふしぎ
 ぼくらの怪盗戦争
 ヴァンパイアの恋人1
 おいもさんがね…
 おばけのクックさん

童冬二 著
 永田昌徳 著
 栗田正行 著
 大崎 梢 著
 伊坂幸太郎 著
 左巻健男 著
 宗田 理 著
 越水利江子 著
 とよたかずひこ 著
 西平あかね 著

七城公民館図書室

視線
 ソロモンの偽証 第I部 事件
 人生が用意するもの
 内田悟のやさしい塾 秋冬
 キリンちゃん
 よるの美容院

永嶋恵美 著
 宮部みゆき 著
 川上未映子 著
 内田 悟 著
 花形みつる 著
 市川朔子 著

旭志公民館図書室

頼むから、ほっといてくれ
 恐怖配達人
 土方歳三と新撰組 10人の組長
 つばやき隊
 ピョピヨモりのゆうえんち
 あそび

桂 望実 著
 小池真理子 著
 菊地 明 著
 つばやきシロー 著
 工藤ノリコ 著
 ヘレン・オクセンバリー 著

「ナツカのおばけ事件簿」
 この話は、主人公の日暮ナツカとナツカの父、日暮道遠の2人が、おばけの引き起こす事件を解決していく話です。心に残った話は、「恐怖のろくろっ手」です。その内容は、島野みかさんが壁から出てくる巨大な手におそわれ、ナツカ親子に事件の解決を依頼しに来るところから始まります。どうやって解決するのだろうとわくわくしながら読んでいきました。皆さんはどうやって解決すると思いますか。なんと日暮道遠は、延長コードを投げ縄のように振り回して巨大な手をつかまえてしまったのです。実は、このおばけの手は、電気に弱くて延長コードから



限府小学校6年 岩崎 葵さん

斉藤 洋 著
 流れた電気によって消えてしまったのです。当然のようにこのことに気づいていた日暮道遠は、すごいと思いました。私は、おばけの話が好きです。怖いけれど、また読みたくなるからです。その他にも、いろいろな事件を解決しているのので、「ナツカのおばけ事件簿」シリーズをぜひ読んでみてください。

耳より情報

としょかんまつり いいね！図書館は素敵な場所！

と き 11月24日(土) 午前10時～
 ところ 泗水図書館
 内 容 リサイクル雑誌配布、企画展示、その他
 ▼午前10時30分～
 「木内里美さんと朗読を楽しもう！」
 ～コントラバスの調べ＆朗読の世界～
 ▼午後2時～
 「ロアッソ選手と絵本を楽しもう！」
 ※詳しくは館内配布のチラシをご覧ください。

あなたも郷土を調べるクイズに挑戦してみませんか！

期 間 11月17日(土)～11月30日(金)
 市内4カ所(泗水・中央・七城・旭志)の図書館(室)で、それぞれの地域の郷土にまつわる事柄を調べるクイズにチャレンジしてみませんか？どなたでも参加できます。内容が難しい場合はスタッフがヒントをだすなどのお手伝いをしますので、気軽に声をかけてください。参加していただいた人には粗品を用意しています。(※数に限りがありますのでご了承ください)
 申込方法 各図書館(室)の窓口で申し込んでください。

万句の里俳句会 9月例会

心解くふる里の畦曼珠沙華 小山 照子
 夕焼の山の形を低くする 田中 美智
 何時来ても阿蘇は雄大大花野 吉井 綾子
 どんぐりを拾ひ昔に還りけり 丸山美代子
 青空に風の通へる秋桜 岩木 敬治

せせらぎ俳句会 9月例会

虫の音も聞けぬ耳もて更けゆけり 村山 数恵
 曾孫より寄せ書届く敬老日 服部 静子
 一雨が発芽うながす秋野菜 藤本アツ子
 秋茄子やレシビあれこれ切り分ける 寺本 和子
 百合匂ふ金婚式の夜なりけり 藤本 邦治

旭志文芸教室俳句会 9月詠草

瓜刻む昼餉も近し里の家 芹川 蓉子
 阿蘇谷の道を塞ぎし霧襖 芹川のり子
 杖つきて一駅歩く秋涼し 水谷 ミネ

一株の南瓜生け垣覆いけり 中尾ヨシコ

いざ本番 ガッツポーズで出て行かす 田尻 浩風
 修行中 師匠の技は盗むもの 高木 房恵
 時刻表 ベッドの上で旅します 高倉 新米
 不思議 何億円も入るタンス 辻 弘喜
 真つ平御免 実家の墓に予約済み 藤野 清子

肥後狂句桜会 9月例会

さぞよかる 思いのままに生きて来て 吉岡 三水
 さぞよかる 今日朝からデートて 柏原 乗仏
 黙つとれ 横からいらん口だすな 平井 江彩
 整形帰り すれ違うてん気の付かん 中島 五女
 整形帰り 子供が親で分かるどか 宮上 美由

肥後狂句水笑会 9月例会

雨上がり道の傍の水溜り鶴鶴歩ゆむ水輪つくりて 村上 幾雄

七城短歌会 9月詠草

約束を忘れてゐたり立ち急ぐ足に炬燵のコードが絡む 佐々 重弘
 朱に染まる夕庭畑に立つわれの周りを低く赤トンボ舞う 岩崎 照代
 ひとりの居の我を氣遣ひ来し娘台風予報に水を溜めおり 池田カツ子
 蝉の声いつしか途絶え庭高く羽光らせてアキツ飛び交う 木下 陽子

高齢者大学 9月歌会

荒れ狂ふ濁流の川に足竦む旭志の被災これほどまでとは 中川 愛子
 熱帯夜、寝屋に吹き入る川風の心地よきかなまどろみゆかむ 氏岡 百枝
 朝顔の花の青色清々し今日三十五度とテレビは報ず 安東 綾子
 娘、孫に支へられての吾の日々両手合はせり此の幸せに 梅野カヲル
 在りし日の母の淋しさ思ひをり知る人少なき通夜の里人 中原 光子

菊池短歌会 10月詠草

子より喜怒哀孫よりもらふ哀楽を此岸生き抜く糧となしつつ 中川 愛子
 さやさやと穂に出でそめし田を越えて祭り太鼓が村透りくる 中原ちえ子
 思慕といふやさしき営みありしこと 怒留湯健容
 飯の姿を人と生まれて



紫蘇の穂をしごきながらにAさんと鮭井など話が弾む 村上さき江
 影にさえ躰ささうなわが歩み照らして優し十三夜月 山下 菊代